



主 内容

- 2……消防白書、災害時要援護者支援制度
- 3~6……なばり市議会だより
- 7……2月の二次救急実施病院 8……美し国三重市町対抗駅伝

## 名張かわまちづくり一体型 浸水対策事業(1期)概要

<令和5年(2023年)完成予定>  
※橋梁工事を除く

- ▼河道掘削(約15万㎡)  
洪水時に水位を低下させるために河道を掘って水が流れる面積を広くする
- ▼引堤工事(約1km)  
黒田地区付近の名張川左岸約1キロにわたり堤防をずらす
- ▼樋門(2カ所)設置  
堤防を横断する水路にゲートを設置する
- ▼名張大橋延伸
- ▼黒田橋架け替え

### 名張かわまちづくり事業

「名張かわまちづくり協議会」により、河川敷に親水広場や桜並木の植樹など水辺空間を生かした整備を検討していきます。



イメージ図



河川上流にある  
3つのダム

名張川は市街地を取り囲むように流れているため、もしも氾濫が起きると、多くの浸水被害が予想されます。

名張川は過去に伊勢湾台風などにより氾濫し、周辺地域は、大きな被害に遭いました。その後、青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダムが建設され、台風などの豪雨で河川の氾濫などが心配される際、これら3つのダムが連携して名張川、宇陀川の洪水調整をして、危険を回避してきました。

しかし、名張川と宇陀川の合流付近は川幅が狭く、今後、大規模な豪雨時には、3つのダムによる調整だけでは、対応が困難になる状況が考えられます。

### 川幅を広げる工事と 水辺空間の整備を

そこで、合流付近の名張川左岸の堤防を約1キロにわたってずらし、川幅を最大で2倍に広げる工事に着手しました。これに伴い黒田橋の架け替えや名張大橋の延伸も行います。



木津川上流河川事務所  
事務所長 田中 徹さん

### 3つのダムにより 危険をこれまで回避

全国各地で豪雨などによる洪水や土砂崩れなどの被害が多発しています。国では、河川堤防の改修や砂防ダムの設置など自然災害に備え、ハード整備が急務となっています。

# 引堤工事に着手

## 大規模洪水時の流域の安全度を高める

国による、名張川と宇陀川の合流付近の川幅を広げる引堤工事(河川改修工事)が始まりました。この工事により、名張川左岸の堤防を1キロにわたってずらし、川幅を最大で2倍に広げ、大規模洪水時の流域の安全度を高めます。また、同時に川を生かした水辺空間の整備も進めていく予定です。

関木津川上流河川事務所 ☎63・1611

## 2種類あるダムからの警報放送に注意を!

QRコード音声確認



### ▼ダムからゲート放流を開始するとき(30分前)

~放流を増やしていきます。川の水かさが増え危険です。速やかに川から出てください。

### ▼緊急時(3時間前・30分前) 緊急警報音+放送

~異常洪水に対応するためダムからの放流量が増加します。直ちに命を守る行動をとってください。

関木津川ダム総合管理所 ☎64・8961

### 放流警報設備(サイレン・スピーカー)の増設を行います

河川水位上昇に伴う危険が高まると予想された緊急時に、河川付近の住民の皆さんに情報をお知らせする目的で、スピーカーを増設します。